

南京戦史資料集II

財人偕行社

2043915854

目次

資料解説	1
「上海・南京 見た、撮った」（元毎日新聞写真記者・佐藤振壽撮影）	1
松井石根大将陣中日記	1
上海派遺軍司令官親補・出征（八月十五日～二十日）	昭12・8・15～13・2・28
上海上陸戦闘（八月二十二日～二十四日）	13
軍司令部上陸（九月九日～十一日）	4
大場鎮攻撃（十月二十一日～二十六日）	35
蘇州河の戦闘（十月二十九日～十一月三日）	35
第十軍の杭州湾上陸（十一月五日～六日）	35
上海の閉鎖完成（十一月九日）	35
湖東会戦の終結（十一月二十日）	35
南京攻略戦（十二月一日～十三日）	35
南京入城式・慰靈祭（十二月十七日～十八日）	35
帰国（十三年二月十日～二十一日）	35
松井石根大将「支那事変日誌抜粋」	35
陸軍大将畠俊六日誌「要約」	35
杉山書簡（杉山陸軍大臣から松井大将宛書簡）	35
松井指揮官・山本實彦対談（雑誌『改造』昭和十三年二月号）	35
河邊虎四郎少将回想応答録（抜粋）（昭和十五年 参謀本部作製）	35
対支那中央政権方策（昭和十二年十一月 参謀本部第一部第一課）	35

上村利道日記（上海派遣軍參謀副長・歩兵大佐）	昭12	8	15	13	2	15
山田梅二日記（歩兵第百三旅團長・陸軍少將）	昭12	9	9	12	12	31
兩角業作手記（歩兵第六十五聯隊長・歩兵大佐）	昭12	11	21	12	12	31
荒海清衛日記（歩兵第六十五聯隊第一大隊本部・上等兵）	昭12	11	21	12	12	31
大寺隆日記（歩兵第六十五聯隊第七中隊・上等兵）	昭12	11	21	12	12	25
菅原茂俊日記（歩兵第三十六聯隊乙副官・歩兵少尉）	昭12	9	10	12	12	24
歩兵第三十六聯隊第十二中隊「陣中日誌」	昭12	12	8	12	12	18
福元統日記（歩兵第四十五聯隊第十一中隊・上等兵）	昭12	10	12	12	12	23
歩兵第四十五聯隊第二中隊「陣中日誌」	昭12	12	12	12	12	353
歩兵第四十七聯隊第二中隊「陣中日誌」	昭12	12	12	12	12	378
戦車第一中隊行動記録（概要）	昭12	12	12	12	12	385
太田壽男供述書（第二碇泊場司令部・騎兵少佐）	昭12	12	12	12	12	395
梶谷健郎日記（第二碇泊場司令部・騎兵軍曹）	昭12	11	5	12	12	404
俘虜取扱規則（明治三十七年・陸達第二十二号）	昭12	11	5	12	12	420
支那事變關係公表集（昭和十二年十二月～十三年一月・外務省情報部）	昭12	11	5	12	12	428
大本營陸軍部・西義章中佐の報告（概要）『東京日日新聞』	昭12	11	5	12	12	439
外国に於ける新聞（外務省情報部）	昭12	12	6	12	12	441
南京・上海・杭州國防工事の構想、構築と役割（黃德馨述）	昭12	12	6	12	12	446
南京城複廓陣地の構築と守城戰闘（程奎朗）	昭12	12	6	12	12	450
「從軍とは歩くこと」佐藤振壽手記（元毎日新聞写真記者）	昭12	12	6	12	12	455
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	460
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	467
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	471
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	476
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	485
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	495
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	504
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	513
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	522
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	531
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	540
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	549
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	558
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	567
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	576
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	585
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	594
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	603
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	612
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	621
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	630
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	639
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	648
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	657
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	666
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	675
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	684
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	693
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	702
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	711
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	720
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	729
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	738
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	747
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	756
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	765
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	774
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	783
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	792
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	801
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	810
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	819
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	828
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	837
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	846
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	855
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	864
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	873
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	882
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	891
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	900
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	909
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	918
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	927
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	936
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	945
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	954
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	963
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	972
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	981
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	990
「南京へ!!南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12	12	6	12	12	1000

資料解説

『松井石根大將戰陣日記』について

本文冒頭に収録したのは、松井石根大將が上海派遣軍司令官に親補された昭和十一年八月十五日から翌昭和十三年二月二十八日帰国するまで六ヶ月半に及ぶ戰陣日記の「全文」である。

うち、八月十五日から十月三十一日にわたる上海戰間の二冊、第壹卷・第貳卷は戦後一時所在が不明であったが、原剛氏（防衛研究所戦史部部員）の熱心な搜索により平成四年八月板妻・普通科第三十四連隊資料館で発見され、上海戦から南京占領に及ぶ大將の日記の全文が初めて公開されたこととなつた。

『資料集I』所収の上海派遣軍參謀長『飯沼守日記』、本『資料集II』所収の同じく參謀副長『上村利道日記』と併せ読まれたい。

従来、ややもすれば觀念論に傾きがちであった「南京事件論争」に関し、上海戦から南京攻略にわたる作戦指導をめぐるる論争と齟齬、戦闘の実相・將兵の戦場心理や勇怯・その死傷病、補給の実態——等々について、具体的な全体像を把握するための確かな手掛かりとなるであろう。

一例を挙げよう。當時同盟通信社上海支局長であった松本重治氏の回顧録『上海時代（下）』（中公新書・昭和50年）によれば「[松井大將は]南京に行かずに「すむよう」事態の和平的收拾を計られた」（217～222ページ）と、説得力に富む会見記が昭和十一年九月十四日の出来事として述べられ、またこの記事は歴史的事実として他の著作物にも